

同窓会会報

第76号

平成16年4月7日
発行所 茨城県東茨城郡
茨城町鯉淵5965
鯉淵学園同窓会
TEL.029-259-2811
〒319-0323 茨城県東茨城郡
鯉淵5965 印刷所
印刷 柳 双葉 印刷

同窓会長再任のご挨拶

同窓会会長 高橋隆三

昨年十一月八日の第二十六回同窓会大

会において、慣例に従って茨城・東京支部代表者構成による役員推薦委員会の推挙により、満場一致で会長に再任されました。本会の目的である、会員相互の融和親睦と鯉淵学園（以下学園）の発展に貢献する事を、肝に銘じて努力して参りますので、よろしくご支援の程お願い申し上げます。尚、昨年十月三日に開催された農民教育協会役員会において、協合理事に再任されましたことを申し添えます。

さて、学園は平成十七年十一月に創立六十周年を迎えます。先回の同窓会大会で、学園から支援要請のあった六十周年記念事業（農産物直売所の建設）について全面的に協力する事とし、目標二千万円（二口二万円）の寄付募金の実施が決まりました。近く記念募金趣意書を添えてご協力お願いの運びになります。ご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ます。

学園に対する国庫補助金並びに農業団体寄付金は減少の一途をたどり、収入割合で昭和三十年代七〇〜七五％が近年は三〇％以下に落ち込んでいます。国庫補助のうち施設費は大幅に減額され、今後教育施設の整備は難しくなりそうです。事業費の平成十五年度補助金額は約六〇万円で前年対比約二四〇万円の減額です。農業団体寄付金も中央団体負担金について二年続けて五％ずつの減額です。

以上のように学園は学生の授業料によって財政が支えられており、学園を将来にわたって維持発展させるためには、毎年の入学者定員八〇％以上を確保する必要があります。

全国の大学・専門学校で学生獲得競争が激化する中で早くからそのことを強く意識し、学園改革について相当な時間とエネルギーを集中して検討がなされ、多岐にわたっての改革案を提案しています。

学園改革に当たって経営基盤の脆弱な学園では学園長始め教職員の苦勞も並大抵ではないと想像します。本会に対し六十周年記念事業「農産物直売所の建設」支援の要請があった事もその一つと理解します。

全国会員の皆さん、農産物直売所設置により農場収益の増、販売実習による教育の充実、卒業生のためのアンテナショップ、地域住民との交流の場等を図るとする学園の取り組みを支援しようではありませんか。

学園改革の中で重視すべき問題に全寮制があります。学園の寮生活は学びやすい環境にあるのか、関係者の方々からいろいろの声が入りますので気になります。五十期以降の卒業生の皆さん、寮生活の体験をとおしてのご意見をお寄せ

理事長就任のご挨拶



鯉淵学園の同窓生の皆様こんにちは。皆様方におかれましては、それぞれの持ち場でご活躍になり、充実した毎日を送っておられることとお慶び申し上げます。

私は、平成十五年十月に開催された農民教育協会の理事会において、二瓶氏の

ください。

最後に本会事務局体制についてですが、平成五年十一月から事務局業務の全てを事務局長にお願ひして参りました。この体制では運営に無理があり、会長就任以来学園に対し事務処理支援のお願いをしてきました。昨年十二月八日、学園との話し合いで「学園事務部に本会事務（会計）担当者置く」のご協力を頂く事になりました。

会員の皆様には長い間ご迷惑をお掛けした事と思いますが、今後は期待に応えられる運営をいたしたく存じます。

ご協力を約束された学園長に対し心から感謝の意を表します。

先ずは所感の一端を申し述べて再任のご挨拶とします。

財団法人 農民教育協会

理事長 安橋隆雄

後任として理事長に選任され就任いたしました。少子化の時代を迎え学園運営も厳しさを増しておりますが、学園の発展を図るため、井上学園長をはじめ教職員ともども全力を尽くして参りたいと考えていますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

ご案内のように、わが国の社会は、このところ大きな変化をとげています。こ

第二十六回同窓会大会報告

の中にあつて、農業やその関連産業をとりにまく情勢も極めて厳しいものとなつています。皆様の母校鯉淵学園もこのような変化に適切に対応していくことが、学園の持続的発展のために重要なことだと考えています。学園の伝統も、時代にマッチしたところはさらに発展させ、時代に適合しないと考えられるところは大胆に改革していくことが必要です。このため、今、学園では数年間検討してきた学園の改革方針をさらに具体的なものとするため精力的に努力を重ねていることです。同窓生の皆様にも、母校がさらなる発展をしていくために、ご意見ご叱正をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

同窓生の皆様からは、特定公益増進法人としての協会が行つています学園の調査研究事業をご支援いただく意味で、毎年ご寄付を頂戴しておりますし、また、学園への入学生についての推薦入學にもご協力いただいております。さらに、来年平成十七年が学園創立六十周年になりますこと、学園で計画した記念事業にご協力いただくことになっております。このような各般にわたる皆様のご支援ご協力に対し、この場をお借りして衷心から厚くお礼申し上げます。

最後に、今後とも同窓生の皆様がお元気で活躍されますようお願いいたしますとともに、鯉淵学園の永続的発展を図るため、皆様の一層の暖かいご支援ご協力をお願い申し上げます、就任のご挨拶とさせていただきます。

第二十六回同窓会大会は、十一月八日三番教室で十七の支部から五二名の参加により開催された。

大会は、高橋会長から挨拶に併せて提案された議案について充分ご審議をいただく旨の挨拶があり、引き続き来賓の農民教育協会安橋隆雄理事長から補助金削減など厳しい現況と協会への寄付支援お礼の祝辞があり、井上隆弘学園長からは、学園の近況について、①第五十七回学園祭について、②改良普及員、管理栄養士資格取得見直しによる対応策と新資格取得について、③六十周年記念事業直売所建設に向けて同窓会活動に対する期待と祝辞を賜りました。

大会人事

次の方々を選任、任命する。

以下、敬称略

議長選任

須田 哲也 (16期) 茨城支部

議事録署名人

真下 寿宣 (11期) "

卜部 泰郎 (19期) "

書記

工藤 徹郎 (40期) "

佐藤 利文 (45期) "

審議事項

一、第一号議案 平成十四年・十五年度

事業報告並びに決算の承認について執行部からの提案説明、涌井監事から監査報告の後審議にはいり、質疑応答の上、承認された。なお、同窓会事務室設置及び一部改築とパソコン等備品購入については、インターネット同窓会ホームページ開設による組織強化の一環として理解を得た。

二、第二号議案 平成十六・十七年度事業計画並びに予算について分収林の管理活用について検討、従来の組織強化策の継続、試験研究に対する支援の継続、学園六十周年記念事業支援、目標募金額二千万円に向けて質疑応答の上、承認された。

予算は、別掲「平成十六・十七年度予算書」のとおりである。

役員選出

役員推薦委員会を設置し、協議を行い、推薦委員会を代表して、事務局長から推薦会議結果を受け、全員留任の提案がされ、満場一致、別紙のとおり十六・十七年度の役員が承認された。

なお、木村常務理事より同窓会へ、参議員 日出えいすけ氏の応援要請があり、同窓会として応援協力の方向でまゐる。

懇親会

大会終了後、今回第二十六回大会においては、茨城町にある「ひぬま荘」へ移動、一泊で行われ同窓会参加者、協会理事参加者、学園職員参加者による情報交換、活発な意見交換など懇親の和が夜を惜しんで行われた。



平成14・15年度決算書

自平成13年10月1日 至平成15年9月30日

1 一般会計

(1) 収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	増減	摘要
1 会費	6,300,000	6,105,000	△ 195,000	
(年度会費)	2,449,000	1,272,000	△ 1,227,000	年度会費 @3,000×424人
(終身会費)	3,801,000	4,833,000	1,032,000	終身会費 @3,000×1,611人
2 寄付金	100,000	97,500	△ 2,500	寄付金
3 雑収入	50,000	107,072	57,072	預金利息、補助金62千円
4 前期繰越金	110,976	110,976	0	繰越金
合計	6,560,976	6,420,548	△ 140,428	

(2) 支出の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	増減	摘要
1 会議費	1,000,000	1,057,512	△ 57,512	大会費、常任委員会費等
2 事務費	1,170,000	252,336	△ 917,664	通信費、事務費等
3 事業費	3,650,000	4,354,649	704,649	
(会報費)	2,000,000	3,432,669	1,432,669	会報発行費
(組織活動費)	550,000	460,070	△ 89,930	宮城県支部他総会参加費等
(名簿調査費)	100,000	550	△ 99,450	名簿発行調査費
(行動費)	1,000,000	461,360	△ 538,640	事務局長行動費他
4 分収林費	500,000	500,183	183	分収林調査費
5 負担金	130,000	126,365	△ 3,635	農業大学校連絡会費
6 予備費	110,976	22,856	△ 88,120	
合計	6,560,976	6,313,901	△ 247,075	

2 特別会計

(1) 決算書

(単位:円)

科目	前期末繰越金額	当期収入金額	当期支出金額	当期末繰越金額
1 基本金会計	14,607,040	2,266,000	721,000	16,152,040
2 終身会費会計	18,639,000	4,538,000	4,833,000	18,344,000
4 名簿会計	0	3,948,000	5,351,699	△ 1,403,699
合計	33,246,040	10,752,000	10,905,699	33,092,341

(2) 収支明細表

(単位:円)

科目	収入金額	支出金額	摘要
1 基本金会計	2,266,000	721,000	平成14年度新入生 96人×1,100
14年度入会金	1,056,000		平成15年度新入生 110人×1,100
15年度入会金	1,210,000		
2 終身会費	4,538,000	4,833,000	
14年度納入者	2,885,500		100人
15年度納入者	1,652,500		60人
3 名簿会計	3,948,000	5,351,669	
一般販売	3,227,000		922人 @3,500
14年度新入生	336,000		96人 @3,500
15年度新入生	385,000		110人 @3,500
合計	10,752,000	10,905,669	

平成16・17年度予算書

自平成15年10月1日 至平成17年9月30日

1 一般会計

(1) 収入の部

(単位:円)

科目	前年度予算額	16・17年度予算額	増	減	摘要
1 会費	6,300,000	6,450,000	△	150,000	費金
(年度会費)	2,487,000	2,157,000	△	330,000	719 * 3,000
(終身会費)	3,813,000	4,293,000	△	480,000	1,431 * 3,000
2 寄付金	100,000	150,000		50,000	寄付金
3 雑収入	50,000	50,000		0	預金利息等
4 繰越金	110,976	106,647	△	4,329	
合計	6,560,976	6,756,647		195,671	

(2) 支出の部

(単位:円)

科目	前年度予算額	16・17年度予算額	増	減	摘要
1 会議費	1,000,000	1,100,000		100,000	総会費、常任委員会
2 事務費	1,170,000	500,000	△	670,000	通信費、事務消耗品等
3 事業費	3,650,000	2,050,000	△	1,600,000	
(事務局費)	0	1,000,000		1,000,000	会計事務等
(組織活動費)	550,000	550,000		0	支部総会参加経費等
(行動費)	1,000,000	500,000	△	500,000	事務局行動費
4 会報費	2,000,000	2,232,000		232,000	会報76、77、78号、インターネット
(名簿調査費)	100,000	0	△	100,000	
5 分収林管理費	500,000	500,000		0	枝打他
6 負担金	130,000	120,000	△	10,000	農業大学校全国連絡会費
7 予備費	110,976	254,647		143,671	
合計	6,560,976	6,756,647		195,671	

鯉淵学園同窓会 平成16・17年度役員名簿

役職	氏名	卒期	支部
会長	高橋 隆三	9	茨城県
副会長	倉重 一夫	11	〃
〃	住吉 達男	17	東京都
副会長兼常任委員長	山本 英治	31	茨城県
監事	梅崎 孝臣	13	〃
〃	伊藤 喜代治	26	東京都
〃	涌井 義郎	31	茨城県

鯉淵学園創立六十周年記念事業募金への

協力依頼について（お願い）

同窓生各位

鯉淵学園

学園長 井上隆弘

謹啓 早秋の候、同窓生の皆様にはますますご清栄のことと心からお慶び申し上げます。

日頃は鯉淵学園の運営に何かとお力添えを賜り厚くお礼申しあげます。

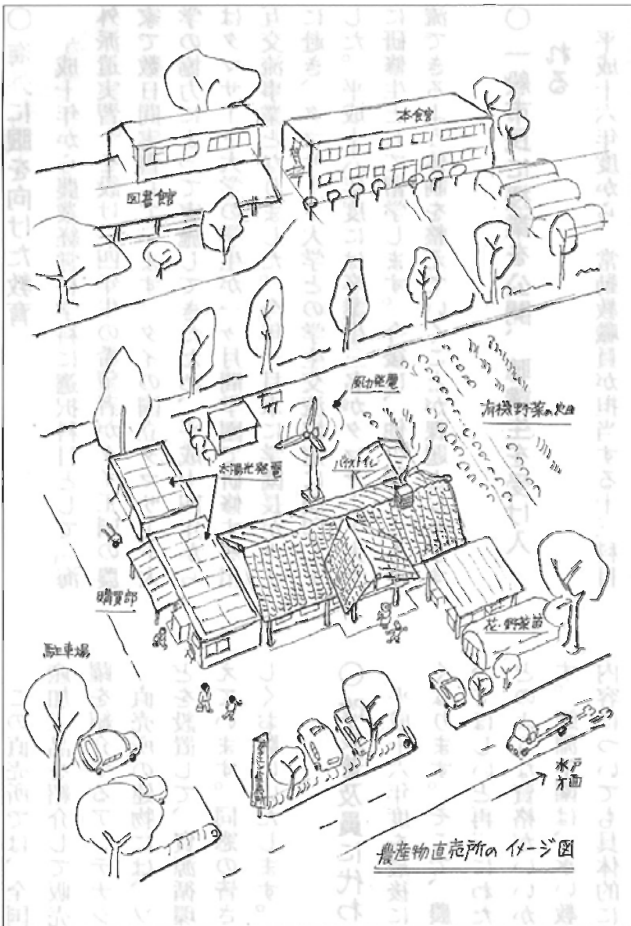
さて、鯉淵学園は来年（平成十七年）十一月に創立六十周年を迎えます。この六十周年という節目に何か記念事業をと、別添趣意書により学園施設の整備充実（農産物直売所の建設）計画について同窓会にお諮りしましたところ全面的にご支援いただける運びとなり

ました。

つきましては、はなはだ勝手なお願ひではございませんが、同窓生の皆様に母校発展のため是非ともお力添えをいただき、募金へのご協力をお願いする次第です。鯉淵学園といたしましては、教職員一丸となって学園運営体制の強化と教育内容の充実・発展のために全力をかたむけ、皆様のご期待に添えるよう努力してまいる所存ですので、今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

末筆ながら、同窓生の皆様のご健康・ご隆盛を祈念申しあげ、募金協力へのお願ひいたします。

敬具



農産物直売所の一つの案

この図は、あくまで一つの案です。このように作るとは決まっています。皆さんからアイデア、ご意見をいただきながら、平成16年末までには構想を固めて設計し、冬ころから建築に入れればと考えています。規模についても、ソーラー発電などの工夫ができるかどうかは、皆さんからの募金額によります。ご支援をお願いします。

社会のニーズにそって…

教務部長 涌井義郎

○環境保全・循環型農業の教育、食農一貫教育

鯉淵学園では、以下のような取り組みによって、教育の充実に最大限の努力を払っています。学生からの要望も年々高まっている課題です。

- 一 授業科目に「環境保全型農業論（H7年）」「有機農法論（H11年）」を設けた。
- 二 二農場で、環境保全・資源循環型の作物栽培、家畜飼育に取り組み、学生の卒業論文と絡めて各種の実証研究（H13年から）を行っている。
- 三 露地の野菜栽培で「JAS有機」の認証を取得（H14年）して、有機農業の教育に取り組み。有機野菜は購買部で直売、今後は有機稲作が課題。
- 四 学生食堂に残飯など生ゴミを発酵処理する施設を導入（H12年）し、有機質肥料および豚のエサに利用する実証研究に取り組んでいる。
- 五 授業科目に「保全生態学（H16年から）」を設け、実習フィールドとして水田・二〇アールを利用したピオトープを作る。
- 六 このピオトープは、（独）農業環境技術研究所と汚水浄化（バイオフィルター）をテーマにした共同研究にも活用する。（独）農環研とは学内有機物資源の循環実態についても共同研究する。
- 七 生活栄養科学科には従来どおり農業を教える科目があり、新たに農業経営科学科に「食品学」「食品加工」「食器衛生」「農産加工」などの「食」の科目を準備。二学科共通科目に「食農教育（H16から）」を設ける。

○海外に眼を向けた教育

平成十年から農業経営科学科に選択科目として「海外派遣実習」を設け、四年生の希望者がタイ王国の農家で数日間実習しています。タイの国立タマサート大学の協力によって実施してきたため、平成十四年からはタマサート大学の学生が一ヶ月間学園で研修する相互交流事業となりました。今年一月末に学園長がタイに赴き、タマサート大学との学生交流協定に調印しました。平成十六年度には卒業生三名がタマサート大学に研修生として留学します。今後は、他の国々とも交流できるような体制を整えていくことが課題となります。

○一般市民に授業を公開、聴講生を受け入れる

平成十六年度から、常勤教職員が担当する十三科目を一般公開し、市民に聴講してもらえようになります。茨城県内の人々の中には、鯉洲学園が農業と食の学校であることを知らない人がまだ大勢いると聞きます。鯉洲学園を広く社会に知ってもらい、学園教育を公共に役立ててもらおうと準備中です。

○農産物直売所の建設、同窓生のアンテナショップに

鯉洲学園創立六十周年の記念事業として「農産物直売所」の建設を計画しました。この事業には、同窓会の協力を仰ぎ、同窓の皆さんの募金をお願いすることになりました。学園の農産物（米、野菜、果物、食肉加工品など）を欲しがる人が増え、直売比率が高まりましたが、購買部にそのスペースがないのが現状です。また、学生たちに年間を通じて販売実習の場を設けたいことから、直売所がぜひ欲しいと考えています。

この直売所では、全国の同窓の皆さんの農産物と農産加工品を紹介して販売できる場所とし、皆さんの活躍を紹介するアンテナショップとする予定です。直売所の建物には、ソーラー発電やバイオトイレなどを設置して、資源循環のモデル施設にもしたいと考えています。同窓の皆さんのご支援を、なにとぞよろしくお願いいたします。

○改良普及員に代わる新資格の準備

平成十六年度を最後に、改良普及員の資格が取れなくなりました。そこで、農水省に新しい指導者資格を作ってほしいと再三にわたって要請しました。農水省は、どのような資格がいいか、この春から検討会を設けました。鯉洲学園は、永い教育の経験を踏まえて新資格の内容についても具体的に提案し、平成十七年度から新資格が実施されるよう要請を続けていきます。

それとは別に、新たな資格も準備しています。作物・園芸コースでは平成十三年度から「グリーンアドバイザー」の指導を行い、畜産・加工コースでは平成十七年度から「家畜体内受精卵移植師」の資格講習を始めます。生活栄養科学科では平成十七年度から「フードスペシャリスト」の取得ができるよう申請中です。「フォークリフトや小型建設機械」の作業免許講習は数年前から行い、多数学生が取得しています。

○学生募集のお願い

平成十六年度入学生募集は、困難を極めています。一月末現在の志願者数は、農業経営科学科が五〇名、生活栄養科学科が二四名（計七四名）です。昨年度は同時期に約百名でした。少子化の影響はかなり重大です。

生活栄養科学科は、県内に管理栄養士を養成する大学が登場するなどライバルが多いことと、女子高校生が寮生活を敬遠するなどいくつかの原因が考えられます。

農業経営科学科は、やはり改良普及員の資格を取れなくなったことが最大の原因と考えています。

高校生にとって魅力となるような教育内容の改善・充実に、学園の総力をあげて取り組んでいます。同窓の皆さんからの志願者推薦を、なにとぞよろしくお願います。



タイ王国タマサート 大学との学術交流

鯉洲学園は、一九九七年からタイ王国タマサート大学科学技術学部農業技術学科 (Dept. of Agricultural Technology, Faculty of Science and Technology, Thammasat University) と交流をしています。二〇〇三年度までに、タイ王国へ六〇名近くの本学学生を研修に送り出し、二〇〇二年からは、タマサート大学から毎年二名の短期留学生を受け入れて来ました。

この実績をもとに、二〇〇四年一月三十日、タイ王国タマサート大学科学技術学部と学術交流協定を結びました。これにより、本学園生のタマサート大学への長期留学や、タマサート大学から鯉洲学園への留学、教員同士の学術交流も公式に行われます。



農業環境技術研究所 との教育研究協力に 関する協定 (MOU)

鯉洲学園は、つくば市にある(独)農業環境技術研究所(陽捷行理事長)と教育研究協力に関する協定(MOU)を結び、二月二日に鯉洲学園において調印式が行われた。今後、鯉洲学園と農業環境技術研究所は、鯉洲学園内における有機物資源の循環を数量的に把握する研究と、水田を活用した汚水浄化(バイオフィルター)の実証研究に取り組む。学生も参加する二つの研究活動を通じて、資源循環型農業のあるべき姿、自然環境との調和などを探っていく計画である。

鯉洲学園は、この他に「環境保全・循環型農業の実証的研究」として、家畜排泄物の堆肥化・有効活用技術、食品廃棄物の肥料化・家畜飼料化、有機農業技術など広範な研究を学生と一緒にやっている。



農業新規参入シンポジウム

同窓会の皆様のご寄付等によって運営が行われている本学園総合研究は、平成十五年度より「環境保全・循環型農業の実証研究」に加え、経営・流通コース教員による「若者新規就業促進教育研究」がスタートしました。後者の研究の背景には、非農家出身者が農業経営科学科の現在の一年生のほぼ半数に達し、彼らの主要な進路希望が農業を実際に行う仕事であるというような、新規参入についての社会的関心の広がりがあります。この研究の一貫として、二月十四日、鯉洲学園で、農業新規参入シンポジウム「農業の世界に飛び込むとき」が開催されました(市民団体「茨城農業元氣アップネットワーク」と共催)。

当日は、来賓の茨城県農林水産部長の中村武雄氏を始めとして、約一五〇名に上る多数の参加があり、会場の三番教室はほぼ満席の状態でした。新規参入者三名、新規参入をサポートする団体に属する五名の合計八名のパネラーが次々と登壇し、体験や思いを語りました。学園卒業生で酪農の世界に新規参入した仲永博文さん(42期)はパネラーの一人で、茨城県水海道市で就農するに至ったいきさつや現在抱えている課題について、情熱を秘めつつ淡々と話していただきました。

また、つくば市で直売所みずほを経営し、日本農業法人協会会長でもある長谷川久夫さん(特別選科22期)は、新規参入者を含む農業経営者に求められる資質について、熱っぽく語っていただきました。本学園福井教授は最後に登壇し、就農準備校の経験や若者の新規参入の現状と教育機関としての課題について話しました。

農業の世界に飛び込むとき —そのロマンと—



第23回茨城県ブラックアンドホワイト賞 第5部(未經産牛)チャンピオン受賞

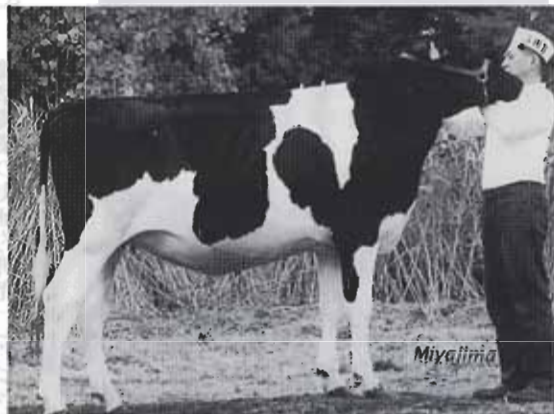
平成15年11月1日、茨城県中央家畜市場において21ヶ月以上～24ヶ月未満の未經産牛の部で、7頭出品中チャンピオンを受賞。

第5部 ホルスタイン種(系)

未經産牛

21ヶ月以上～24ヶ月未満 13.11.91～14.02.20

序 列	出 品 No.	名 号 登録 番号 生年月日	血 統	組 合 名	産 地	住 氏 所 名
チャンピオン	501	リンデン スコーピオ トニー ダーハム 1052263754 父 14.02.11 母	レーガングレスト エルトン ダーハム ET リンデン スコーピオ トニー	鯉淵学園	自家産	内原町鯉淵
金賞一席	506	シルクファーム シルビアハート ラデュック 7368157 父 13.12.31 母	リステル ラデュック ET シルビアハート ロージー	共栄	自家産	守谷市大木 安孫子 健一
金賞二席	507	NNJ ミルク トルネード 1052361569 父 13.12.19 母	ウエザービューエスエス スライダー ET ミルク アポロ プリンセス	茨城北	自家産	内原町内原 日本農業実践学園
金賞四席	505	ブルーミング ジャーランチェ クリスチナ ニューイヤー 19605652 父 14.01.01 母	ユング リューク セイバー ET ブルーミング ジャランチェ クリスチナ	北海道	北	岩間町押辺 菅谷 孝之
銀賞一席	504	ジーケー リンカーン ルーテル バンテリン 1054279398 父 14.01.30 母	デイクシーラー ルーテル ET ジーケー リンカーン チャレンジャー	美野里	自家産	美野里町中台 菊田 源治
銀賞二席	503	NNJ ウイロー マーベリック 1052361576 父 14.02.04 母	メープル ウード マーベリック ET ウイロー アポロ ボールド	茨城北	自家産	内原町内原 日本農業実践学園
銀賞三席	502	プライセス ライオネル アイオン 1054158709 父 14.02.11 母	ザンドウオーター アイオン ET プライセス ライオネル フィールド	茨城北	自家産	水戸市河和田町 奥田 明宏



第21回茨城県北肉牛枝肉共進会優秀賞受賞

第21回茨城県北肉牛枝肉共進会が平成15年11月17日～20日にかけて茨城県中央食肉公社で管内15市町村から和牛46頭、交雑種10頭の合計56頭の出品で盛況に開催されました。

卒業論文のために実施した粗飼料給与試験の供試牛を2頭和牛の部に出品し、共に出荷月齢が早いにもかかわらず枝肉成績が優れ、特に優秀賞2席となった枝肉は生後25ヶ月ながら、格付けA-5、枝肉重量427kg、「BMS」No11とすばらしい成績でした。



入 賞 牛 一 覧

第1部和牛

褒 賞	出 品 者 市 町 村	出 品 者 氏 名	名 号	性	父	母の父	産 地	月 齢	枝 肉 重 量 kg	格 付
名 誉 賞	茨城町	石崎 均	安福谷	去勢	福谷福	安 福	福島県	32	470.0	A-5
優 秀 賞 1 席	茨城町	大和富士夫	紋北48	去勢	北国7の8	紋次郎	北海道	31	498.0	A-5
優 秀 賞 2 席	内原町	鯉淵学園	鯉淵143	去勢	美津福	平茂勝	内原町	25	427.0	A-5
優 秀 賞 3 席	茨城町	篠原孝三	八 頭	去勢	安福57	安 平	北海道	31	445.5	A-5
優 秀 賞 4 席	高萩市	熊代昭一	福 桜	去勢	福 栄	平茂勝	岩手県	32	550.0	A-5
優 秀 賞 5 席	茨城町	沼田精次	春福栄	去勢	福 栄	糸 光	北海道	29	486.5	A-5
優 良 賞 1 席	水戸市	市毛重治	初 春	去勢	北国7の8	照長土井	大子町	34	462.0	A-5
優 良 賞 2 席	茨城町	石崎 均	光	去勢	照 萩	安 福	宮崎県	31	458.5	A-5
優 良 賞 3 席	高萩市	小堀悦男	127芝桜4	去勢	平茂勝	糸 福	北海道	31	441.0	A-5
優 良 賞 4 席	十王町	加藤洋明	平 正	去勢	安 平	隆 桜	宮崎県	30	483.0	A-5

同窓会ホームページについて

助教授 小 沼 和 重 (29期生)



鯉淵学園を卒業と同時に母校に就職し、まもなく30年目を迎えようとしています。現在の担当業務は、作物・園芸課（園芸農場）の責任者と企画渉外係（学生募集など）の二つの業務を兼務しております。企画渉外での主な役割は、学園ホームページ（以下HP）の作成、更新を担当しております。学園HPは、内部専用HPを長谷川量平講師、学生食堂HPを播田実かおり助手、これにメインの公式HPを私が担当し、この3つのHPをリンクさせて公開しております。しかも、1日平均100人がHPを訪れる人気サイトであり、常に最新情報を流さなければならないプレッシャーを感じながら更新しています。また、

学園とは全く別なサーバーに“同窓会HP”を設置しており、このHPは同窓生ということもあってすべてを私が独断と偏見で作成しております。本来なら、このようなことをあまり公開しないほうが、やりやすいのですが“同窓会HP”を公開して、早、1年1ヶ月（平成14年12月1日公開）が経過し、約6,000人の卒業生がいるにもかかわらず、アクセス数があまり伸びない実情やもっとHPを利用してもらいたい要望から、HPに関することを今回『会報』で皆様へ説明し、利用頂ければ幸いと思い公開いたしました。

まず、“鯉淵学園同窓会HP”は平成14年12月に立ち上げ、1年経過した平成15年12月1日に、現在のブロードバンド進展状況において、ADSL回線が45Mbps（実速10Mbps）になったことによりマイナーチェンジをし、全体にやや重くなりましたが、ADSL回線を使用することを前提に情報量を増やしました。現在まで（平成16年2月10日現在）、約7,823人のアクセスがあり1日平均20人がHPを訪れています。6期生から在校生、まったく同窓生とは関係ない人達などが見ておられますが、大部分は学内が多いようです。また、これらを分析すると、休み明けの日中にアクセスが多く、夜はほとんど固定された人がみているデータが出ています。



次に、アクセスの仕方を述べますと、“鯉淵学園HP”から入ると“鯉淵学園同窓会HP”から直接入る2つの方法があります。アドレス（URL）は、“鯉淵学園HP”が「<http://koibuchi.ac.jp/>」、 “鯉淵学園同窓会HP”は「<http://koibuchi.cool.ne.jp/>」です。これらのアドレスを書かなくても、yahoo（ヤフー）などの検索ソフトで、“鯉淵学園”と書き検索しますと“鯉淵学園HP”アドレスが出てきます。同様に“鯉淵学園同窓会”と書き検索しますと“鯉淵学園同窓会HP”アドレスが出てき、同窓会HPに入れます。

HPを見る場合の注意点は、フォントを変えて（スタート画面から何も無いところを右クリック→プロパティを左→設定を左→詳細設定を左→フォントを大きいや小さいなどに変更する）いますと文字の「ずれ」が生じますため、どのHPを見る時もデフォルト（ノーマル）の設定にしておくことをお勧めいたします。

同窓会HPは、大きく分類しますと10のページから構成され、情報量は実に150MBととてつもなく沢山の情報が掲載されています。簡単にこれらを説明いたしますと、

最初にアクセスすると現れる画面は“TOP”ページです。このページだけ情報量を多く掲載するために文字が小さくやや見にくいとおもいます。仕掛けは、画面上部に『鯉淵学園 同窓会』と学園マークが回転しながら現れます。これはFLASHという技術で作成しており、これだけで約1ヶ月を費やしております。また、最新ニュースや事務局からのお知らせを掲載し、支部会や同期会などが開催され、情報が入った場合は写真も掲載しています。なお、ここでは、写真をクリックすると拡大するように設定してあります。

次に役員“役員”ページは、歴代会長、支部長、三役を掲載しています。

“会員専用”は、他のページで詳しく住所、氏名などをセキュリティ上掲載していませんが、ここではパスワードにより保護され同窓会員や役員住所、名前を掲載しています。このページにはデータを悪用されないようにパスワードで保護されている他に、刑事事件になった場合には証拠として提出できるように有料の解析ソフトを設置しており、誰が訪問したか追跡できるようにしてあります。今後は、このページに同窓会名簿を掲載する準備を現在しているところです。なお、パスワードを所有する方法については、同窓会TOPページに詳しく掲載されています。

“同窓会情報”ページでは、同窓会、支部会、同期会などの情報が確認できたものや支部会結果などを掲載しています。しかし、報告のなかったものについては掲載できませんので、必ず、世話役の方は報告されるようお願い申し上げます。

“会報”ページは、第1号から現在発行されたものまですべての会報を掲載しています。なお、ファイルが重くならないように印刷しますと不鮮明になる場合がありますが、今後、さらに会費の徴収が悪くなった場合には、経費を削減するために『会報』を発送しなくてもHPから鮮明に印刷できるように、解像度を上げるように設定する準備があります。

“恩師”ページは、学園地図に職員が常時居る場所や、退職者も分かるように掲載しています。

“母校より”のページでは、鯉淵学園からのお願いが掲載されています。

“リンク”のページでは、同窓生からの応募により関連するHPを掲載しており、応募の仕方はHP上に詳しく説明しております。

“談話室”のページは、一番使用頻度が少なく使い方が分からない方が多いと感じられます。一般には『チャット』と呼ばれているもので、『入室する』ボタンをクリックして、中に入りますと、誰か他の方が入っていますとその場で『会話』ができるコーナーです。時間を決めて、入室してもいいし、何人とでも会話ができます。

最後に“掲示板”のページです。これは『伝言板』的な役割をするもので、返事も書き込むことができますが、くれぐれも中傷的なことはここに書き込まないというのがマナーです。もし発見した場合は私の判断で削除いたします。

最後に、皆さんからの情報をお待ちしております。支部会、同期会、仲間同士何でも構いません。HPのTOPにある『お問い合わせ』のなかの『ホームページに関するお問い合わせ』が同窓会のメールアドレスで私に届くようになっています。このメールアドレスに直接情報や写真を添付して頂きますとすぐHPに掲載できます。最近の傾向として、開催された支部会、同期会などに卒期と名前を掲載しましたら、めったに会えない同窓生から元気な様子が分かっていいというメールを多数いただき、意識して卒期と名前だけを掲載することにしています。ただし、“会員専用”以外は、過去に発行された『会報』においてもHP上では、住所、氏名、TELが掲載された文章は同窓会の皆様にご迷惑がかからないように一切掲載しておりません。

これからも、最新情報を発信し、毎日同窓会がHP上で開催できるようにしたいとおもいます。

支部・同期の動向

同一JA内に二二人の同窓生が活躍中

長野県の南部に位置するJA上伊那には、現在二二人の同窓生が活躍中です。

JA上伊那は、二市四町四村を管内とし、組合員二万四千人、職員千二百人の一郡一JAです。平成八年の合併により、

それまで分かれていた同窓生も同じJAの仲間となり、何かにつけ情報交換をしたり、学園の神髄である先輩から後輩へのつながりは、他の学校卒業生にない強い絆をもっております。また、二二人の内三名は事務系で、残り九名は米穀・野菜・花卉の管農技術員であり、農家組合員から強い信頼を受けているところも他学校卒業生にない特色です。しかし、少し気を緩めると、大先輩であり専業農家として頑張っている9期樋屋喜吉さんより激が飛んでまいり、組合長の言葉より先輩の方が恐ろしいと後輩は感じております。

写真は今年の七月に、学園の安藤先生が学生募集の為当地区の高校を訪ねられた際に、久しぶりに同窓生が集まり、情報交換や先生から学園の様子を聞かせていただきました。学生募集には、高校訪問に同窓生も一緒に行き、学園の様子など話して

おり、その甲斐もあってか、現在管内から五名の学生が学園で学んでおります。学園がいつまでも発展していくためには、同窓生の頑張りが必要ではないかと感じているこの頃です。



写真の紹介

前列左側より 24期村田、23期牛山、21期下島、9期樋屋、安藤先生、奥様
27期飯塚
後列左側より 35期北原、30期神林、26期宮島、37期吉澤、29期小田切
29期伊東、30期矢野
(30期伊藤君中座、37期伊沢君欠席、27期飯塚さんは市役所勤務)